

平成30年度

会報

埼玉県連合教育研究会

平成30年10月12日

埼玉県連合教育研究会

責任者 楠木 隆

事務局 〒330-0804
さいたま市大宮区堀の内町1-99
さいたま市立大宮東中学校内
印刷 関東図書株式会社

埼玉県連合教育研究会
会長 楠木 隆

会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

本研究会は、埼玉県下全小・中学校等の教員約3万人が参加する教育研究団体であり、55の地域（市町・班）教育研究団体と19の教科等研究団体の自主的・創造的・組織的な研究活動により、埼玉県教育の振興に尽力してまいりました。

本研究会の新たな取組として、本年度、会員の皆様への情報提供のため、また、地域及び教科等研究団体の密接な連携を図るため、本研究会のホームページを開設いたしました。開設当初であり、まだまだ充実した内容とはなっておりませんが、是非、下記URLにアクセスしていただきたいと思っております。

ホームページには、①本研究会の組織図 ②会費等の流れ ③各研究団体の取組 ④教科等研究団体の全国・関ブロ大会要項 ⑤記念講演会の講演録 ⑥研究論文応募要領 ⑦会報・研究集録 ⑧各種様式集 ⑨教科等研究団体へのリンク ⑩問い合わせ欄等を掲載しています。

会員の皆様には、この「会報」及びホームページ等をご覧いただき、本会についてよりご理解を深め、本会の会員としての自覚と誇りを胸に、本研究会及び各研究団体の諸事業に積極的に参加いただきたいと思っております。

今後も、学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、各学校の創意工夫とともに、下記「活動方針と重点・努力点」に基づく研究への取組も併せてお願いいたします。

 <https://sairenkyou.jp/> 早速！ アクセス！

平成30年度 活動方針と重点・努力点

<活動方針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中学校等の教育の充実と発展に努める。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市等の教育行政施策を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動をすすめ、「教育立県・埼玉」の実現に努める。
- 3 郷土埼玉を愛し、地域社会の発展やグローバル社会に貢献する人材の育成を目指して、質の高い教育研究活動をすすめ、その実現に努める。

<重点・努力点>

- 1 確かな学力の育成のため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育研究活動を一層推進する。
- 2 豊かな心と健やかな体を育て、たくましく生きる力をはぐくむ教育研究活動を一層推進する。
- 3 キャリアステージに応じた教員の資質・能力の向上を図るため、組織的・継続的な教育研究活動を一層推進する。

各教育研究団体におかれましては、本年度も、本会報の研究主題や研究内容に向けての自主的・創造的・組織的な日々の研究活動を、より一層充実したものとしていただけるものと期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさつといたします。



目次



・会長あいさつ、活動方針と重点・努力点 ……………	1	・教科等研究団体等の研究主題・研究内容 ……………	5
・平成30年度役員・評議員等 ……………	2	・地域教育研究団体のあゆみ ……………	9
・組織・運営図 ……………	3	・事務局だより・研究論文入賞者研究論文の概要 ……	13
・会費等の流れ ……………	4	・平成30年度研究論文募集要領 ……………	16

平成30年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等

1. 本部役員等

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	鍋木 隆	さいたま・大宮東中	理事(書写)	小原 茂	入間・上藤沢中
副会長(さいたま)	島村 暁	さいたま・片柳中	〃(音楽)	白井 裕一	深谷・常盤小
〃(南部)	森田 直樹	上尾・東中	〃(道徳)	鴻野 年伸	寄居・寄居中
〃(西部)	児玉 亮一	富士見・西中	〃(心理相談)	高橋 光代	川口・元郷小
〃(北部)	矢嵩 泰	小鹿野・小鹿野小	監事	辻口 幸恵	富士見・針ヶ谷小
〃(東部)	宗方 健二	蓮田・黒浜西中	〃	濱名 博昭	本庄・本庄東小
事務局長	分須 正明	さいたま・大宮東中	〃	窪田 忍	春日部・宝珠花小
幹事	高山 裕子	さいたま・大宮東中	編集委員長	長島 庸夫	さいたま・八王子中
〃	五十嵐 淳	さいたま・大宮東中	編集委員	松下 洋介	埼玉大学・附属小
〃	渡辺 俊行	さいたま・大宮東中	〃	三浦 直行	埼玉大学・附属中
常任理事(さいたま)	蓮見 哲	さいたま・大谷場中	〃	吉井 一生	鴻巣・下忍小
〃(南部)	若林 茂	川口・芝樋ノ爪小	〃	石川 和宏	埼玉大・附属特別支援
〃(南部)	石崎 明子	草加・清門小	〃	小代美智子	さいたま・大東小
〃(西部比企)	鷺巣 亨	嵐山・菅谷中	〃	小坂 浩士	さいたま・常盤小
〃(西部入間)	須田 亮	川越・牛子小	〃	大島 綾子	蕨・東中
〃(北部秩父)	黒田 富衛	秩父・原谷小			
〃(北部児玉)	福島 彰	上里・上里東小			
〃(北部大里)	清水 登	熊谷・妻沼南小			
〃(東部北埼玉)	秋元 伸浩	行田・中央小			
〃(東部埼玉葛)	瀬田 浩	宮代・須賀中			

2. 教科等研究団体

No.	研究団体名	会長名	所属
1	埼玉県国語教育研究会	武井 悟	さいたま・仲町小
2	埼玉県書写教育研究会	小原 茂	入間・上藤沢中
3	埼玉県社会科教育研究会	笹原 秀之	さいたま・浦南和小
4	埼玉県算数数学教育研究会	向井 邦明	熊谷・熊谷東小
5	埼玉県理科教育研究会	石田 耕一	さいたま・大宮東小
6	埼玉県音楽教育連盟	白井 裕一	深谷・常盤小
7	埼玉県美術教育連盟	加藤 修	鴻巣・赤見台第二小
8	埼玉県保健体育研究会	関 克則	蕨・南小
9	埼玉県英語教育研究会	阿久津一浩	さいたま・大成中
10	埼玉県道徳教育研究会	鴻野 年伸	寄居・寄居中
11	埼玉県特別活動研究会	熊谷 茂樹	川口・朝日東小
12	埼玉県進路指導・キャリア教育研究会	千代田 栄	富士見・東中
13	埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会	清水 肇	さいたま・沼影小
14	埼玉県教育心理・教育相談研究会	高橋 光代	川口・元郷小
15	埼玉県特別支援教育研究会	山田 明	熊谷・市田小
16	埼玉県学校図書館協議会	木村 直美	朝霞・朝霞第六小
17	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会	松崎 和則	鴻巣・鴻巣北中
18	埼玉県小学校家庭科教育研究会	田中 恵子	東松山・市の川小
19	埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会	石橋 桂子	春日部・豊春小

3. 地域教育研究団体

旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所属	旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所属	
南 部	1	埼玉大学教育学部附属小学校	川端 博子	埼玉大学・附属小	比 企	30	東松山市教育研究会	中島 豊吉	東松山・青鳥小	
	2	埼玉大学教育学部附属中学校	道工 勇	埼玉大学・附属中		31	小川班教育研究会 ^{※2}	枚田 和子	小川・八和田小	
	3	さいたま市教育研究会	島村 暁	さいたま・片柳中		32	菅谷班教育研究会 ^{※3}	鷺巣 亨	嵐山・菅谷中	
	4	川口市教育研究会	若林 茂	川口・芝樋ノ爪小		33	玉川班教育研究会 ^{※4}	吉田 典夫	ときがわ・萩ヶ丘小	
	5	草加市教育研究会	石崎 明子	草加・清門小		34	川島教育研究会	忍田 壽生	川島・伊草小	
	6	蕨市教育研究会	岡部 慎一	蕨・第一中		35	吉見教育研究会	吉澤 政宏	吉見・西が丘小	
	7	戸田市教育研究会	小高美恵子	戸田・戸田第二小		秩 父	36	秩父教育研究会 ^{※5}	黒田 富衛	秩父・原谷小
	8	志木市教育研究会	坂口 栄二	志木・志木小		児 玉	37	児玉郡本庄市教育研究会 ^{※6}	福島 彰	上里・上里東小
	9	朝霞市教育研究会	谷井 喜信	朝霞・朝霞第七小		38	熊谷市教育研究会	清水 登	熊谷・妻沼南小	
	10	新座市教育連合会	平岡 健二	新座・西堀小		大 里	39	深谷市教育研究会	飯田 明	深谷・明戸中
	11	和光市教育研究会	來嶋 実樹子	和光・本町小		40	寄居町教育研究会	関根 努	寄居・用土小	
北 部	12	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	戸部 秀之	埼玉大・附属特別支援	北 埼	41	行田市教育研究会	秋元 伸浩	行田・中央小	
	13	鴻巣市教育研究会	田中 孝	鴻巣・馬室小		42	加須市教育研究会	岩崎 権威	加須・花崎北小	
	14	北本市教育研究会	大塚 哲	北本・東小		43	羽生市教育研究会	奥泉 雄一	羽生・南中	
	15	上尾市教育研究会	島田 研吾	上尾・西中		埼 葛	44	春日部市教育研究会	栗栖 孝	春日部・藤塚小
	16	桶川市教育研究会	森田 晋	桶川・桶川西小			45	越谷市教育研究会	藤澤 由紀夫	越谷・大沢小
	17	伊奈町教育研究会	田口 元信	伊奈・小針北小			46	久喜市教育研究会	針谷 重輝	久喜・本町小
	18	川越市教育研究会	齊木 眞一	川越・東中			47	三郷市教育研究会	小河 純	三郷・新和小
19	所沢市教育研究会	藤井 宣文	所沢・富岡小	48	蓮田市教育研究会		大澤 裕之	蓮田・蓮田南小		
20	飯能市教育研究会	山下 眞一	飯能・美杉台小	49	幸手市教育研究会	森 祥一	幸手・幸手小			
21	日高市教育研究会	小坂井 啓二	日高・高萩北小	50	八潮市教育研究会	會沢 実	八潮・大瀬小			
入 間	22	狭山市教育研究会	植松 寿広	狭山・入間川東小	51	杉戸町教育研究会	佐藤 茂	杉戸・高野台小		
	23	入間市教育研究会	古川正斗志	入間・金子中	52	吉川市教育研究会	田口 弘	吉川・南中		
	24	富士見市教育研究会	中島 秀行	富士見・本郷中	53	松伏町教育研究会	加納 敏幸	松伏・松伏小		
	25	ふじみ野市教育研究会	佐藤 公誠	ふじみ野・西小	54	白岡市教育研究会	吉野 高男	白岡・南中		
	26	坂戸市教育研究会	杉本 竜之	坂戸・坂戸中	55	宮代町教育研究会	八重樫 元	宮代・東小		
	27	鶴ヶ島市教育研究会	諸井 将博	鶴ヶ島・杉下小		入間地区連合教育研究会	須田 亮	川越・牛子小		
	28	越生班教育研究会 ^{※1}	佐藤 益弘	毛呂山・光山小		埼玉葛連合教育研究会	瀬田 浩	宮代・須賀中		
	29	三芳町教育研究会	豊澤 一美	三芳・三芳東中						

<平成30年度会員数 30,453名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】

※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】

※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】

※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】

※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町】

※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

埼玉県連合教育研究会 組織・運営図



No.	教科等研究団体19
1	国語
2	書写
3	社会科
4	算数数学
5	理科
6	音楽
7	美術
8	保健体育
9	英語
10	道徳
11	特別活動
12	進路指導・キャリア教育
13	学校視聴覚
14	教育心理・教育相談
15	特別支援
16	学校図書館
17	中学校技術・家庭科
18	小学校家庭科
19	生活科・総合的な学習の時間

事務局
局長等
研究協議会

正副会長会 6名
・会長 1名
・副会長 5名

常任理事・理事会 20名
・会長 1名
・副会長 5名
・常任理事 10名<地域>
・理事 4名<教科等>

評議員会 (総会) 112名
・会長 1名
・副会長 5名
・監事 3名
・常任理事 (新旧) 20名
・理事 (新旧) 9名
・評議員 教科等団体長 19名
地域団体長 55名

活動方針作成委員会 8名
・会長 1名 ・副会長 2名
・常任理事 3名 ・理事 2名

会員【本年度 30,453名】
・公立小・中学校、特別支援学校
・埼玉大学教育学部附属小・中学校
・埼玉大学教育学部附属特別支援学校
・希望する私立中学校・特別支援学校等
・校長 ・副校長 ・教頭
・主幹教諭 ・教諭 ・養護教諭

事務局 4名
・事務局長
・幹事
・会報発行
・研究集録発行
・研究論文募集
審査・表彰
・講演会

配分金
旅費配当

会費負担金
講演会補助
論文応募表彰

地域教育研究団体55 ※=複数市町村で構成

1	埼玉大附属小	30	東松山市
2	埼玉大附属中	31	小川班※
3	さいたま市	32	菅谷班※
4	川口市	33	玉川班※
5	草加市	34	川島
6	蕨市	35	吉見
7	戸田市	36	秩父※
8	志木市	37	児玉郡本庄市※
9	朝霞市	38	熊谷市
10	新座市	39	深谷市
11	和光市	40	寄居町
12	埼玉大附属特別支援	41	行田市
13	鴻巣市	42	加須市
14	北本市	43	羽生市
15	上尾市	44	春日部市
16	桶川市	45	越谷市
17	伊奈町	46	久喜市
18	川越市	47	三郷市
19	所沢市	48	蓮田市
20	飯能市	49	幸手市
21	日高市	50	八潮市
22	狭山市	51	杉戸町
23	入間市	52	吉川市
24	富士見市	53	松伏町
25	ふじみ野市	54	白岡市
26	坂戸市	55	宮代町
27	鶴ヶ島市	—	入間地区連合
28	越生班※	—	埼玉葛連合
29	三芳町		

助成：埼玉県・さいたま市・教育公務員弘済会

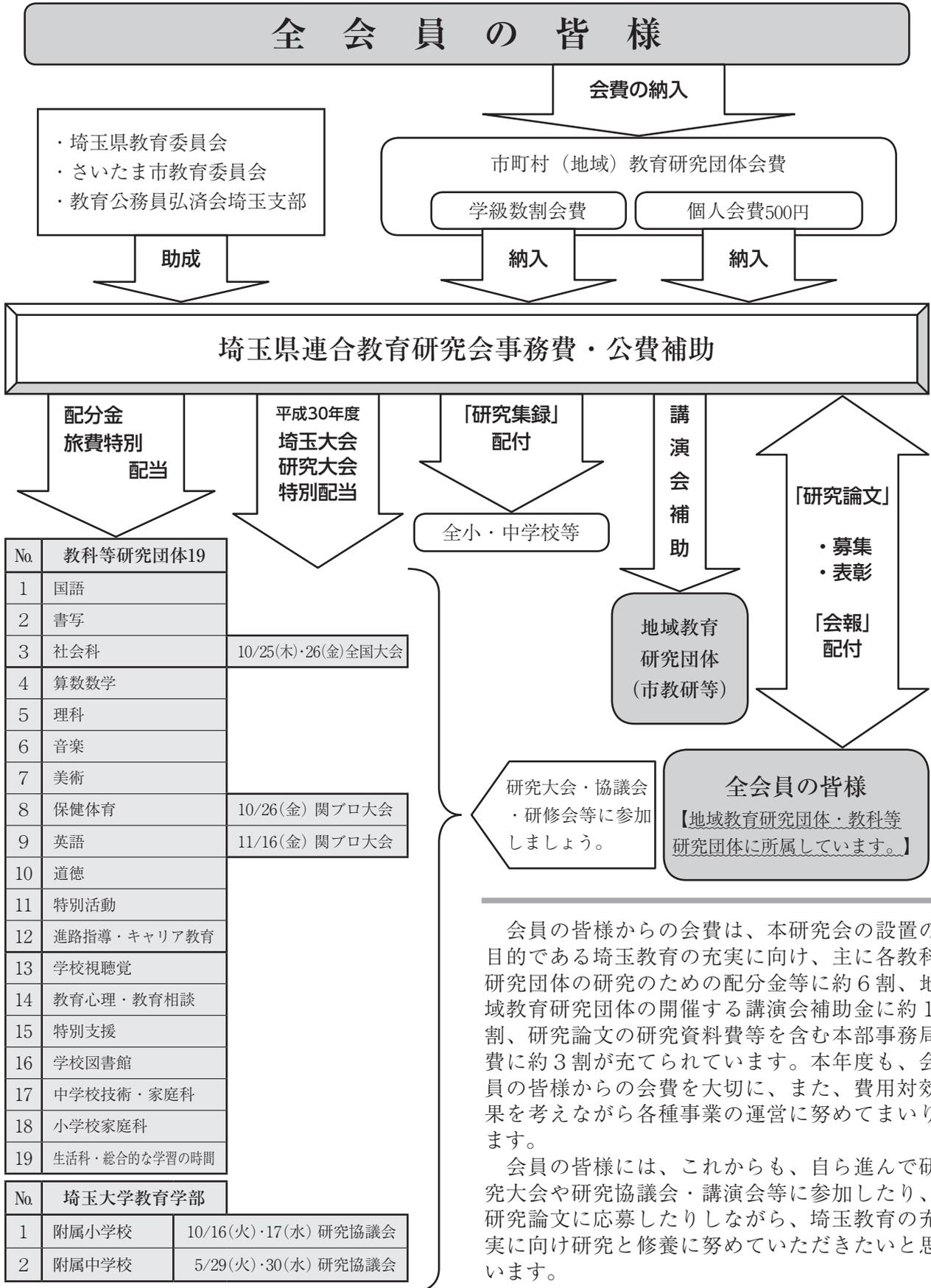
<https://sairenkyou.jp/>

教科等研究団体の全国・関東地区教育研究大会の開催予定 (平成30年7月4日現在)

小・中学校別	全国大会 (埼玉大会)		関東地区大会 (埼玉大会)	
	小学校	中学校	小学校	中学校
30年度	社会科		社会科	保健体育、英語
31年度	保健体育、特別支援	保健体育、特別支援	特別支援	特別支援
32年度				
33年度	算数数学、特別活動	算数数学、特別活動	算数数学、学校視聴覚、小・家庭科	算数数学、学校視聴覚、道徳
34年度			道徳	
35年度			美術、学校図書館	国語、社会科、美術、学校図書館
36年度			生活・総合	進路・キャリア
37年度			音楽	音楽

埼玉県連合教育研究会の各事業は、会員【30,453名】の皆様の会費等により、運営されています

【会費の流れ】



平成30年度

教科等研究団体及び 埼玉大学附属小・中学校の 研究主題・研究内容 《21団体》

1. 国語教育

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きて働く国語の能力の育成をめざす授業
の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を
図るとともに、興味・関心を生かした多様な言語活動
を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的
研究を行う。

また、言語活動を充実させ、児童生徒の思考力・判
断力・表現力を育てるとともに、言語感覚を豊かにす
るための実践的研究を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「文字文化の担い手を育てる書写教育」

2 研究内容

日常に資する技能向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の口頭発表）
- (2) 実技研修会（8月 教職員の技術向上）
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
- (5) 研究集録の発行（3月 研究成果の紙上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

(小) 「社会がわかり、社会にかかわる子供を育てる
社会科学習」

(中) 「追究する力を育てる社会科学習」

2 研究内容

- (1) 小・中学校地域学習研修会

- (2) ブロック別授業研究会

- (3) 研究発表大会

本年度は、10月25日(木)・26日(金)に第56回全
国小学校社会科研究協議会研究大会埼玉大会を川口
市(川口リリア、川口市立本町小学校・戸塚小学
校・鳩ヶ谷小学校)にて開催する。

埼玉大会の成功に向けて、全県を挙げ研究に邁進
している。

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深めると
ともに、指導内容の系統を明らかにし、数学的活動を
重視した学習指導が展開できるようにする。

そのために、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的
な処理のよさや数学的な見方・考え方のよさに気付か
せ、既習事項を活用できるよう学習過程での活動や指
導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「自然を主体的・科学的に探究する資質・能力の
育成」

2 研究内容

児童生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しを
もって観察、実験などを行い、根拠に基づく結論を導
き出す過程を通して、自然の事物・現象を科学的に探
究するために必要な資質・能力を育成するための学習
指導の研究および実践を行う。

- (1) 問題解決の学習過程を重視した指導の工夫
- (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改
善
- (3) 問題解決の力を育成する指導の工夫
- (4) 日常生活や他教科との関連を図った授業提案
- (5) ICT機器の効果的な活用法の開発

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「伝わる音楽」

～音楽を共有し、感性を豊かにする学びを通して～

2 研究内容

- (1) 音楽科における思考力・判断力・表現力を育む指導の充実
- (2) 表現領域と鑑賞領域の関連を図る指導の充実
- (3) 我が国の伝統的な音楽の指導の充実

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び」
～未来をひらく授業づくり「深い学び」の探求～

2 研究内容

- (1) 受け止めよう 子どもの心
 - ・子どもたち一人一人の心をしっかりと受け止め、励まし、豊かな心を培うこと
 - ・自分の心を見つめ、他者と心を通わせ合うことを大切にすること
- (2) 育てよう確かな力
 - ・「確かな力」を生きて働く力ととらえ、育てたい力を具体的に明らかにし、学びを深めていくこと
 - ・造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成すること
- (3) 深めよう 生き生き授業
 - ・子どもたちの実態に適した授業、子どもたちが生き生きと活動できる授業を構想すること
 - ・「主体的・対話的で深い学び」という視点も生かしながら、授業づくりのための手立てを豊かにすること

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

- (小) 「各指導内容をバランスよく指導・評価し、運動の特性や魅力を味わわせる授業の工夫」
「健康・安全に関する内容を実践的に理解させる保健学習の工夫」
- (中) 「生徒一人一人を伸ばす保健体育指導の実践」

2 研究内容

- (小) 「ボール運動系」「表現運動系」「保健」
- (中) 「陸上競技の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」
「ダンスの特性に応じた効果的な学習指導の工夫」

「健康で安全な生活を営むための実践力を育てる保健学習の工夫」

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「21世紀を逞しく生き抜く日本人の育成を目指した英語教育」

～コミュニケーションを大切にする生徒の育成～

2 研究内容

本年度は、関東甲信地区中学校英語教育研究協議会埼玉大会が行われ、県内外の英語の学習指導や実践研究の発表を通し、教員の資質・能力の育成及び主題についての研究を深めたい。

また、日頃の学習指導の成果発表の場として、中学生を対象とした英語弁論大会を開催し、指導教員及び生徒の意識の高揚を図りたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「人としての生き方について考えを深め
よりよく生きる児童生徒を育てる道徳教育」
～学習指導要領が求める道徳教育の実践を通して～

2 研究内容

- (1) 8月「夏季研修会」
教科化を踏まえ、指導方法の改善について協議を行う。また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の浅見 哲也 氏の講演会を実施し、理論と実践の研究を深める。
- (2) 11月「埼玉県道徳教育研究大会・寄居大会」
寄居町立寄居中学校を会場に、授業研究会と文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の澤田 浩一 氏の講演会を実施し、授業実践と理論の両面から研鑽を深める。

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「新学習指導要領における特別活動の展開」

2 研究内容

- 下記の重点を踏まえた理論と実践研究に取り組む。
- (1) 各学校・学級・その実践で育てたい、重点となる

資質・能力を明確にした指導計画について

- (2) 各学校・学級・その実践で育てたい、重点となる資質・能力を明確にした指導と評価の方法について
また、専門委員会（年3回）、定期総会、夏季研究協議会、研究集録（第58集）、会報「特活」（年3回）等の活動を通して県内の特別活動の充実・発展を目指す。

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生きる力を育てるキャリア教育」～小・中の連携を円滑に進めるための協同的な取組を通して～

2 研究内容

小・中9年間で身に付けさせたい基礎的・汎用的能力と活動内容との関連表を、小・中学校の実践事例を踏まえて研究することにより、修正・改善を行っていく。

また、「学級活動を核とした中学校キャリア教育」を活用した実践を通して、小・中学校をつなぐ視点を踏まえ、実践を検証してまとめていく。

さらに、副読本『中学生活と進路』の県版部分を学年ごとに作成・編集する。

年3回、講師を招聘して、次期学習指導要における進路指導・キャリア教育の在り方について研究する。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「心豊かに、自ら学び、主体的に活動する力を育む教育メディアの活用をめざして」
～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～

2 研究内容

教育メディアを積極的に活用することでプログラミング教育等を研究・実践する。その中で児童生徒が「自ら学ぶ力」と「主体的に問題を解決する力」を身に付け、生きる力を育むことをねらいとする。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「だれもが考える力を育み 世界観を広げる
埼玉の放送教育」
～ひろがる つながる 深まる～

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、放送活用を推進し、授業研究会・メディア研究会・放送コンテスト等を通して授業研究等の成果を広く発表していく。

《埼玉県教育機器研究会》

※ 本年度休会

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援」～社会性を育むスキル教育の実践と定着～

2 研究内容

(1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める。

(2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。

(3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて」

2 研究内容

(1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。

(2) 発達障害等、学習や生活に特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する指導の在り方を追究する。

(3) 新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造」
～主体的・対話的で、深い学びを支える

学校図書館教育～

2 研究内容

(1) 研究

学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校の教育課程の展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。

(2) 事業

- ・集会 理事会、学校図書館研究大会、表彰式
- ・協議 第1～3回研究協議会、第1～3回研究部会
- ・研究 学校図書館授業研究会
(鴻巣市立赤見台第二小学校)
- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、表彰式
- ・刊行 埼玉SLA会報85・86号
感想文・感想画集「真珠」
- ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内
- ・参加 全国学校図書館研究大会富山・高岡大会
(発表等) 参加

(3) 調査

埼玉県学校図書館協議会沿革史CD-ROM化
(組織・総会資料・真珠。研究紀要 等)

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する
学習指導の研究」
～新学習指導要領に基づいた題材計画の検討～

2 研究内容

来年度より新学習指導要領の移行期となり、新1年生からは新学習指導要領に基づき授業を実践することが求められている。そこで、本年度は、先行実施期間ということを活かし、「未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する学習指導の研究～新学習指導要領に基づいた題材計画の検討～」に向け、来年度から全県で円滑に実施することができるよう、新学習指導要領に対応した3年間の指導計画や題材毎の計画について研究を進めていく。

また、計画を立てていく上で、示された内容の履修を目的にするだけでなく、「見方・考え方」や「主体的・対話的で深い学び」など、新しく示された項目に対しても配慮した指導計画となるよう配慮していく。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育」
～衣生活に関心をもち、学び合う中で身に付けた
知識及び技能を活用して、主体的に生活を工夫
する児童の育成～

2 研究内容

- (1) さいたま市立常盤北小学校において、第49回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会を開催
- (2) 夏季研修会において講演会を実施
- (3) 埼玉県小学校家庭科児童研究発表会の実施
- (4) 会報38号の編集と発行

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

2 研究内容

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童・生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場面を類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「学びの本質」を育む授業の創造（7年次）
～ともに広げ、ともにしほる思考力～

2 研究内容

- (1) 第86回小学校教育研究協議会
平成30年10月16日（火）・17日（水）に予定している。
研究の7年次として、各教科、健康教育の授業公開、提案を行う。
- (2) 校内授業研究会
個人の研究主題を基に、学校並びに教科の研究主

題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議（質疑・グループ協議等）を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「新学習指導要領に基づく学習指導法の改善」

2 研究内容

副題を「教科等の特質に応じた『見方・考え方』を働かせた学習指導の工夫」とし、「教科等における見方・考え方」と「見方・考え方を働かせた資質・能力の育成への手立て」を研究の視点として、実践研究を行う。

平成30年度

地域教育研究団体の あゆみ 《14団体／55団体》

1. 川口市教育研究会

会長 若林 茂

本会は、川口市立小学校52校、中学校26校の教職員約2,300名を会員として、22の研究部で組織されている。

1 本会の基本理念

「子どもから出て子どもに還る」研究活動

2 基本方針

- (1) すべての会員の声を生かした会の民主的運営を行う。
- (2) 学校の教育活動との調和を図り、研究活動により一層の充実を図る。
- (3) 十分吟味された事業の実施に努める。
- (4) 常に生氣ある会の運営を図り、正確な事務処理に努める。
- (5) 会費の適正な執行に努め、健全財政の確立を期す。

3 主な事業

- (1) 定期総会（年1回）
- (2) 評議員会（年2回）
- (3) 部長副部長会議（年3回）

- (4) 教育講演会（年1回）
- (5) 本部役員会（年役10回）
- (6) 授業研究会（昨年度 年32回）
- (7) 研究紀要発行、文集「かわぐち」発行、市教研情報発行、音楽鑑賞教室、展覧会、研究部主催の研修会 等

2. 志木市教育研究会

会長 坂口 栄二

本会は、志木市小学校8校、中学校4校の教職員300名を会員として、35の研究部で組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本会は、公教育の理念に基づき、志木市の主任会と連携し、本市教育の充実・発展に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 市内一斉授業研究会
「埼玉県一授業のうまい先生がいる志木市」を目指し、教員の授業力向上を図ることを目的とし、12教科・領域において授業研究会を行う。
事前に指導案検討会を実施するとともに、事後に研究集録を発行する。
- (2) 各部会の取組
展覧会・音楽会・実技研修会・講演会・授業研究会・視察研修会・各種大会（球技大会、陸上大会、弁論大会等）・交流会等を実施
- (3) 各種団体との連絡提携
- (4) その他必要な事項

3. 桶川市教育研究会

会長 森田 晋

本会は、桶川市立小学校7校、中学校4校の計11校の教職員308名を会員として、27の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、桶川市内の教育の振興を図り、文化の進展に寄与することを目的としている。

2 主な事業

- (1) 定期総会及び教育講演会
・5月9日（水）於 桶川市立日出谷小学校
演題 「LGBTの理解とかかわり方」
講師 NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会東京理事 小林 りょう子 氏
- (2) 各研究部の活動

- ① 各教科・教科外等研究部
 - ・授業研究会 ・研究協議会 ・実技研修会
 - ・担当者会議 ・現地研修会 ・指導案検討
 - ・リーフレットの作成
- ② 各教科・教科外等の主な主催事業
 - ・硬筆展、書きぞめ展 ・科学展 ・音楽会
 - ・美術展 ・英語暗唱弁論大会 ・科学体験教室
- (3) 研究紀要の作成

4. 所沢市教育研究会

会長 藤井 宣文

本会は、所沢市内小学校32校、中学校15校、教職員1,320名を会員として、31の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は教育基本法に基づき、自主的な教育活動を推進、職能の向上をはかるとともに、所沢市教育の進展に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 代議員総会及び教育講演会（隔年実施）
 - ・平成29年8月23日（水） 於 ミューズ
 - 演題「教職員の生きがいとメンタルヘルスの向上～ストレスコーピングによるセルフケア～」
 - 講師 臨床心理士・精神保健福祉士 洗足ストレスコーピング・サポートオフィス所長
伊藤 絵美 氏
- (2) 各研究部（教科・領域・地区）の活動
 - ① 研究協議会、授業研究会、研修会 等
 - ② 硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展、発明創意くふう展、英語弁論大会、学校給食展、特別支援学級作品展 等

5. 富士見市教育研究会

会長 中島 秀行

本研究会は、富士見市の小学校11校、中学校6校、特別支援学校1校の計18校に在籍する教職員491名を会員として、24の研究部で組織されています。

1 本研究の目的

本会は、会員が主体的に参加し、自主的に研修することで、民主的な組織作りと運営を行い、わかる授業を目指すことを目的とする。

2 研究主題

「一人一人を生かす指導方法の研究」
わかる授業と学力向上をめざし、小学校と中学校の系統的な指導の研究を推進する。

3 主な事業

- (1) 定期総会 5月8日（火）
- (2) 各研究部の活動
研究協議会、授業研究会、実技研修会
音楽部による市内音楽祭
英語部による市内英語弁論大会 等
- (3) 教育講演会 平成31年1月11日（金）
講師 秋草短期大学学長 北野 大 氏

6. ふじみ野市教育研究会

会長 佐藤 公誠

本研究会は、ふじみ野市内小学校13校、中学校6校に在籍する473名の教職員、29の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、会員の資質向上と親睦をはかり、ふじみ野市教育の進展に寄与することを目的としている。

2 主な事業

- ・教育に関する研究調査
 - ・授業研究会、講習会、講演会の開催
 - ・視察、見学
 - ・その他、教育の振興に必要な事業
- (1) 会議
一斉主任会、理事研修会、定期総会、
理事・部長会、各研究部会・協議会、会計監査会
 - (2) 各研究部の活動
 - ・主任研修会（研究協議会、授業研究会など）
 - ・主催事業
硬筆展、書きぞめ展、社会科展、市内科学展、市内音楽会、市内児童生徒美術展、市内発明創意くふう展、英語暗唱弁論大会、児童会・生徒会交流会、特別支援学級交流会・学習発表会、読書感想文審査会 等

7. 東松山市教育研究会

会長 中島 豊吉

本会は、東松山市立小学校11校、中学校5校に在籍する教職員418名を会員として組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、教育の振興と会員の資質の向上発展を図ることを目的とする。

2 本年度の主な事業

- (1) 理事研究協議会
6月29日（金） 3月7日（木）
- (2) 定期総会

- 5月8日(火) 於 松山市民活動センター
- (3) 教育講演会
8月21日(火) 於 松山市民活動センター
演題 「赤ちゃんから学ぶ
～感謝の連鎖は心を育む～」
講師 埼玉県家庭教育アドバイザー
志賀 周子 氏
- (4) 各研究会の活動
- ① 主任研修会
研究協議会・授業研究会・実技研修会 等
- ② 主な主催事業
東松山地区硬筆展・書きぞめ展、
科学教育振興展覧会、音楽会 等

8. 秩父教育研究会

会長 黒田 富 衛

本研究会は、秩父郡市の小学校23校、中学校12校の
会員数647名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育
の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 理事研修会
4月13日(金)・7月3日(火)・2月6日(水)
- (2) 総 会
5月1日(火) 代議員による総会・組織づくり
- (3) 各研究部の活動
5月～2月 各研究部主体による研修会・授業研究
会を実施
- (4) 教育講演会
8月3日(金) 秩父宮記念市民会館
演題 「地方文化と再生」
講師 青柳 正規 氏
(東京オリンピックパラリンピック競技大会
組織委員会文化・教育委員会委員長)

9. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 福 島 彰

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の小
学校24校、中学校8校に在籍する740名の教職員で組
織され、30の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、児玉郡本庄市内における教育研究会の活動
を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図
ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 理事研修会及び総会
5月8日(火) 本庄市民文化会館
演題 「学校教育上の諸課題」
講師 本庄市教育委員会教育長 勝山 勉 氏
- (2) 教育講演会
8月2日(木) 児玉総合文化会館
講師 国立教育政策研究所
総括研究官 千々布 敏弥 氏
- (3) 各研究会の活動
- ① 授業研究会 ② 硬筆・書きぞめ展
③ 科学展 ④ 音楽会 ⑤ 美術展
⑥ 英語弁論大会 ⑦ 創意くふう展 等を運営
- (4) 研究集録の作成
各研究会の研究概要・成果をまとめる。

10. 寄居町教育研究会

会長 関 根 努

本研究会は、小学校6校、中学校3校に在籍する
179名の教職員で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、自主的、創造的な教育研究活動を推進
して、職能の向上を図り、本町教育の振興を期するこ
とを目的とする。

2 主な事業

- (1) 教育講演会(隔年実施)
平成29年8月28日(月) 寄居町役場6階
演題 「新学習指導要領が教育現場に求めること」
講師 国政研教育課程調査官 阿部 恭子 氏
- (2) 小・中学校一斉授業研究会
- (3) 各研究部の活動
主任研修会(研究協議会、授業研究会など)
主な主催事業
- ① 硬筆展 ② 科学展 ③ 美術展
④ 音楽会 ⑤ 親善運動会
⑥ 英語弁論大会 ⑦ 書きぞめ展
- (4) 研究集録作成

11. 羽生市教育研究会

会長 奥 泉 雄 一

本会は、羽生市内小学校11校、中学校3校の教職員
294名で33の研究部から組織されている。

1 本研究会の目的

変化の激しい社会への対応とその要請に応えるた
め、主体的・積極的な活動を通し、羽生市学校教育の

充実と質的向上を図ることを目的とする。

2 活動の重点

ファイブエス(5S)「賢明な判断(Sagacity)、迅速(Swift)、誠実(Sincerity)、奉仕(Service)、微笑み(Smile)」をキーワードに、「『知・徳・体・コミュニケーション能力』を地域とともに育む羽生の教育」を推進し、たくましく生きる力を育む教育活動に取り組んでいる。

3 主な事業

- (1) 各主任研究協議会における研修会等の実施
授業研究会、研修会、実技研修会、施設見学、視察、埼玉大学教育学部附属中学校との連携 等
- (2) 各研究部主催による展覧会等の実施
硬筆展、書きぞめ展、科学展、小・中学校音楽会、児童生徒美術展、小学校陸上記録会 等

12. 吉川市教育研究会

会長 田 口 弘

本会は、市内小学校8校、中学校3校の教職員を会員として、27教科領域等の研究部会で組織されている。

1 本会の目的

本会は、吉川市内小・中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的としている。

2 本年度の主な事業

- (1) 定期総会・教育講演会
5月14日(月) 於 吉川市立中央公民館
演題 「『非認知』なるものの発達と教育」
講師 東京大学大学院教育学研究科
教授 遠藤 利彦 氏
- (2) 各研究部の活動
 - ① 硬筆展 ② 発明創意くふう展 ③ 科学展
 - ④ 小学校陸上競技大会 ⑤ 小・中学校音楽会
 - ⑥ 書きぞめ展
 - ⑦ 小・中学校読書感想文審査会
 - ⑧ 合同学習発表会 ⑨ 英語弁論大会
 - ⑩ 児童生徒美術展
- (3) 研究集録「歩み」の作成

13. 松伏町教育研究会

会長 加 納 敏 幸

本研究会は、松伏町内小学校3校、中学校2校に在籍する教職員144名を会員として組織され、27の研究部会で構成されている。

1 本研究会の目的

教育の研究を推進し、松伏町教育の進歩向上に寄与

すること

2 研究主題

人格の完成を目指す過程の小学校と中学校の9年間で取り組む小中連携 ～学びと育ちの連続性の研究～

3 主な事業

- (1) 本部役員会 年2回
- (2) 研究部全体会 4月
研究部事業計画案の検討と研究テーマの設定
- (3) 総会・全体研修会 5月
演題 「特別の教科 道徳における授業と評価」
講師 越谷市立南中学校長 島方 勝弘 氏
- (4) 教科等研究部長研究協議会 6月
- (5) 各研究部の授業研究会、研究協議会
- (6) 陸上大会、音楽会、科学展、なかよし遠足 等
- (7) 研究集録の発行

14. 白岡市教育研究会

会長 吉 野 高 男

本研究会は、白岡市内小学校6校、中学校4校に在職する242名の教職員で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、白岡市の教育の向上を図ることを目的とする。

2 研究主題

「生きる力」を確実に育む学校教育の推進
～新学習指導要領の趣旨を実現する教育の推進～

3 本年度の主な事業

- (1) 定期総会・全体研修会
4月18日(水)
於 白岡市コミュニティーセンター
演題 「主体的・対話的で深い学びの実現」
講師 元文教大学教授 嶋野 道弘 氏
- (2) 各専門部の活動
 - ① 各専門部研究協議会 授業研究会 等
 - ② 小学校陸上競技大会 科学教育振興展覧会
小・中学校合同音楽会 児童生徒書きぞめ展
小・中学校児童生徒美術展覧会
発明創意くふう展 英語弁論暗唱大会
交流学習会
- (3) 研究紀要の発行

事務局だより

平成30年度 本部 事業 計画

平成30年

- 4月2日(月) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼
 5月15日(火) 平成29年度本部会計監査会
 6月13日(水) 第1回 正副会長・新旧理事研究協議会
 評議員会(総会)・全体研究協議会
 平成29年度教育研究論文入賞者表彰式
 記念講演会
 講師 共栄大学教育学部
 教授 濱本 一 氏
 7月4日(水) 教科等研究団体事務局長等研究協議会
 7月18日(水) 第2回 正副会長会
 10月12日(金) 『会報第71号』発行及び全会員への配付
 10月16日(火) 平成31年度の活動方針作成委員会
 11月14日(水) 関東地区小中学校教育研究会連絡協議会
 千葉大会 (千葉県教育会館)
 11月26日(月) 研究論文募集締め切り
 12月12日(水) 第1回 編集委員会

平成31年

- 1月23日(水) 第2回 編集委員会
 2月20日(水) 第3回 正副会長会
 2月28日(木) 平成30年度教育研究団体活動報告書提出
 (日本教育公務員弘済会埼玉支部)
 3月6日(水) 教科等研究団体会計監査会
 7日(木) 教科等研究団体会計監査会
 8日(金) 教科等研究団体会計監査会
 3月12日(火) 『研究集録付研究論文集』発行及び配付
 3月22日(金) 教育研究団体活動報告書提出
 (埼玉県教育委員会等)

被 表 彰

平成30年度「身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会会長賞を、次の児童生徒さんが受賞されました。

おめでとうございます。

- 小川町立八和田小学校 第4学年
 金子 泰毅 さん
 作品名 『大きくすのひみつきち』
- 坂戸市立桜中学校 第1学年
 吉村 玲季 さん
 作品名 『私の友達』

全国・関東地区教育研究大会後援

- 全国教育研究発表大会後援 (1団体)
 ● 第56回全国小学校社会科研究協議会研究大会
 埼玉大会
 第19回関東地区小学校社会科研究協議会研究大会
 第47回埼玉県社会科教育研究会研究発表大会
 平成30年10月25日(木)・26日(金)
 川口総合文化センター リリア
 川口市立本町小学校
 川口市立戸塚北小学校
 川口市立鳩ヶ谷小学校
- 関東地区教育研究発表大会後援 (2団体)
 ● 第63回関東中学校保健体育研究協議会 埼玉大会
 平成30年10月26日(金)
 新座市立石神小学校 (全体会)
 新座市立第六中学校 (公開授業・分科会)
- 第42回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会
 埼玉大会
 平成30年11月16日(金)
 鴻巣市文化センター (クレアこうのす)
 桶川市立桶川西中学校
 北本市立北本中学校
 鴻巣市立川里中学校

『研究集録付研究論文集』原稿執筆研究団体

本会は、毎年3月に、『研究集録付研究論文集』を発行し、県内全小・中学校等へ配付しています。

そのため、『研究集録付研究論文集』の原稿執筆は、教科等研究団体及び地域教育研究団体のご協力をいただいています。

教科等研究団体には毎年、地域教育研究団体には、4年に1回執筆をしていただいております。旧教育事務所の秩父、児玉、大里、北埼玉は市町村合併により変則的に原稿執筆を依頼しています。平成30年度は、下記の16地域教育研究団体に原稿執筆をお願いいたします。

なお、会員の皆様には、所属の研究団体はもちろんですが、他の研究団体の研究および活動内容等についても是非ご覧になってください。

- ①さいたま市教育研究会 ⑨川島教育研究会
 ②草加市教育研究会 ⑩秩父教育研究会
 ③新座市教育連合会 ⑪児玉郡本庄市教育研究会
 ④伊奈町教育研究会 ⑫熊谷市教育研究会
 ⑤飯能市教育研究会 ⑬加須市教育研究会
 ⑥日高市教育研究会 ⑭春日部市教育研究会
 ⑦越生班教育研究会 ⑮八潮市教育研究会
 ⑧玉川班教育研究会 ⑯宮代町教育研究会

平成29年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『児童の学習成果を保障する体育授業モデルの一般化と指導法の共有化についての一考察 ～学校間連携による体育授業の充実と新学習指導要領実施に向けてのカリキュラム作成を目指して～』

坂戸市立桜小学校 主幹教諭 萩原 雄磨

1 研究の概要

平成29年3月に新学習指導要領が改訂された。各校では、完全実施（平成32年度）に向け、今後2年間の移行期間で、新教育課程の編成に取り組むこととなる。中でも、体育科では、教科で唯一教科書や教師用指導書がないため、計画的にカリキュラム作成を行うことは、学校全体の体育授業を充実させる上で極めて重要である。

このことから、どの教員にとっても効果的で、児童の学習内容を保障する体育授業モデルを開発し、指導法を学校間で共有することで、お互いに体育授業を充実させることの必要性を強く感じてきた。そして、5年間の実践的研究により、体育授業モデルを開発し、成果の上昇した指導法を職員間で共有することで、本校における全学年（34クラス）の学習成果と体力向上を保障してきた。

本研究では、本校での先行研究の成果を生かし、筆者が開発した体育授業モデルを一般化し、効果的であった指導法を様々な学校間で共有することで、本校及び他校の児童の学習成果（技能・思考/判断・態度）を保障することを目指した。

一般化については、「実態把握」

「6年間の系統を踏まえた教材の選定・提案」「授業モデルの提供」「共通理解」「実践・情報交換」「振り返り」の6段階の手順を踏み、指導法は「補助での取組と相互観察」「個に応じた指導」「発見学習」「教え合

い言葉の活用」の4点を学校間で共有した。尚、本研究は、前任校（坂戸市立入西小学校）での研究である。

2 研究の成果と課題

体育授業モデルの一般化と指導法の共有化により、教師の指導力が向上し、どの学校においても体育授業の充実が図られ、児童の学習成果を保障することができた。

また、活用状況や活用頻度、教師の意見、有識者の意見から、体育授業モデルはどの教師にとっても効果的であったと考える。以上のことから、本研究における体育授業モデルと指導法は、体育授業を充実させる上で極めて有効あり、各校の新学習指導要領に向けてのカリキュラム作成の一助になると結論づける。



● 研究主題

『不安傾向が強い生徒への保健室支援の在り方
～「認知再構成法」と「コラム表」を活用しての健康相談活動の実践～』

三郷市立瑞穂中学校 養護教諭 細谷 光子

1 研究の概要

保健室における健康相談活動において、不安傾向が強くみられる生徒に対し、認知行動療法の認知の再構成を行った。ネガティブな感情の付き合い方や対処法などの学びが、生徒の不安を軽減し「不安」や「ストレス」に対する自己コントロール能力を身に付けさせるための有効性について検証を行った。

養護教諭のサポート型カウンセリングにより、生徒は自分の受け取り方や考え方を振り返り、客観的に現実を見つめ直すことが可能になる。結果、身に付けた対処法が活かされ、生徒の行動変容へと繋がっていった。心の健康を支える有効性が示された。

2 研究の成果と課題

保健室における生徒対応において「気分」「考え」を重視した発問へと変化し、生徒を元気づけられたことは大きな成果である。

心のケアが必要な生徒に対し、組織的な対応はもちろん、ワークなどを取り入れた授業実践の積極的な働きかけを行っていきたい。

今後も「チーム学校」における養護教諭の専門性について研究を重ね、生徒の心に向き合い、心を支える養護教諭であるよう自己研鑽を積んでいきたい。



平成29年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『自尊感情を高める小学校4年生の学級集団づくり
～学級内の対人関係づくりと話し合い活動の実践を通して～』

さいたま市立大宮小学校 教諭 深井 正道

1 研究の概要

先行研究を基に、「信頼関係が深まった学級集団において、協働して問題解決する経験を重ねれば、児童の自尊感情が高まるだろう」と仮説をたて、次の手順で実践を行った。第一に、教師と児童の信頼関係を深める手立てを日常的に実践すること。第二に、児童同士の信頼関係を深める手立てを日常的に実践すること。第三に、協働して問題解決する経験を学級活動の時間を中心に重ねること。効果測定には、学校環境適応感尺度「アセス」、さいたま市で実施している「心と生活のアンケート」等

を使用した。

2 研究の成果と課題

アンケート結果から、信頼関係の深まりや自尊感情の高まりが示された。問題解決に必要な力を高めていけば、さらに達成感や成就感を得て、自尊感情が高まっていくだろうと推察できる。今後は、各実践の記録を分析して、どんな言葉、どんな場面で児童の自尊感情が高まっているのかを明らかにする必要がある。



● 研究主題

『児玉中授業スタイルによる授業づくり
～主体的・対話的で深い学びを目指して～』

本庄市立児玉小学校 校長 島田 啓司

1 研究の概要

本研究は、筆者が校長として勤務した本庄市立児玉中学校における平成26年から平成28年度までの3年間におよぶ研究である。

児玉中学校では校長として「授業が変われば学校が変わる」をスローガンに掲げ、学校をあげて授業改善に取り組んだ。

そのために「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業スタイルとして「児玉中授業スタイル」を考案した。

児玉中授業スタイルは全教科で統一して取り組む授業スタイルである。指導過程は、「学習課題の設定」、「見通し」、「自力解決」、「話し合い、学び合い」、「まとめと

振り返り」である。全教員で取り組んだことにより授業改善は大幅に進んだ。

事例は数学科と社会科を掲載した。

2 研究の成果と課題

全国学力学習状況調査の生徒質問紙調査の結果をみると授業改善について全国よりも20%以上高い結果が出た質問項目も多くあった。

また、学校の調査で「授業がわかる、楽しい」も95%以上になった。



長島 庸夫 編集委員長からの「コメント」

昨年度、20編の研究論文の応募があり、入賞された4編は、その中でも、教育実践としての魅力のみならず、先行研究等に基づく理論の構成や研究の進め方、各種データのとり方や処理など、教育研究としての価値について多くの編集委員が認めた研究論文でした。

本年度も、これらの論文に触発され、確かな実践に裏打ちされた貴重な研究論文が幅広い年代の先生方から、また、県内各地から結集されますことを期待しております。

平成30年度 研究論文募集要領

埼玉県連合教育研究会

平成30年度研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、特別の教科 道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格

県内の公立小・中・特別支援学校に勤務する教員の個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力（Word）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「である」体）を原則とします。

また、常用漢字・現代仮名遣いにするとともに、別に表紙を付け、表紙に①題名、②氏名（グループ代表者名）、③職名、④勤務校を記入してください。

5 応募上の留意点

研究論文は、紙上未発表のものにかぎります。

応募原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。

6 応募票

応募者は、本会ホームページから応募票をダウンロードするか、事務局へ電話や電子メールでお申し出ください。

※ホームページURL <https://sairenkyou.jp/>

7 原稿等の提出

平成30年11月26日(月) 必着

応募票及び論文原稿の提出については、電子メールでの送付も併せてお願いします。

8 審査結果

審査結果は、平成31年2月上旬に各応募者に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、平成30年度『研究集録付研究論文集』に集録し、入選者は本会評議員会（総会）後の席上で表彰を行います。なお、研究資料費として入選論文には7万円（最優秀賞は10万円）、佳作論文には5万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（3万円）を設けています。

10 審査員

本部役員および編集委員

11 提出・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99

埼玉県連合教育研究会事務局

さいたま市立大宮東中学校内

TEL 048-641-0808 FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

平成29年度 研究論文入賞者等

<入 選>

- 児童の学習成果を保障する体育授業モデルの一般化と指導法の共有化についての一考察

～学校間連携による体育授業の充実と新学習指導要領実施に向けてのカリキュラム作成を目指して～

【体育】

坂戸市立桜小学校 主幹教諭 萩原 雄磨

- 不安傾向が強い生徒への保健室支援の在り方～「認知再構成法」と「コラム」を活用しての健康相談活動の実践～

【教育心理・教育相談】

三郷市立瑞穂中学校 養護教諭 細谷 光子

<佳 作>

- 自尊感情を高める小学校4年生の学級集団づくり～学級内の対人関係づくりと話し合い活動の実践を通して～

【学級経営・特別活動】

さいたま市立大宮小学校 教諭 深井 正道

- 児玉中授業スタイルによる授業づくり～主体的・対話的で深い学びを目指して～

【学習指導】

本庄市立児玉小学校 校長 島田 啓司